

### 3 荒神川合流地点でみられる主な植物のリスト

※平成26年7月調べ

科名	種名	区分	貴重性		外来種		科名	種名	区分	貴重性		外来種	
			県RDB	外来種	県RDB	外来種				県RDB	外来種	県RDB	外来種
トクサ科	イヌドクサ	常緑多年草					アカバナ科	ユウゲショウ	多年草		●		
フサシダ科	カニクサ	多年草					セリ科	マツバゼリ	1年草		●		
イノモトソウ科	イノモトソウ	常緑多年草						セリ	多年草				
ニレ科	エノキ	夏緑高木						ヤブジラミ	1年草				
	アキニレ	夏緑高木					カキノキ科	カキノキ	夏緑高木				
クワ科	カナムグラ	1年草					リンドウ科	ハナハマセンブリ	1年草		●		
ビャクダン科	カナビキソウ	多年草					キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	多年草		●		
タデ科	シャクチリソバ	多年草	●				ガガイモ科	ガガイモ	多年草				
	イタドリ	多年草					アカネ科	ヘクソカズラ	多年草				
	アレチギシギシ	多年草	●				ヒルガオ科	ヒルガオ	多年草				
	ナガバギシギシ	多年草	●					アメリカネナシカズラ	1年草		●	要	
	ギシギシ	多年草						マルバアメリカアサガオ	1年草		●		
ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	多年草	●			クマツヅラ科	シチヘンゲ	常緑低木		●	要		
オシロイバナ科	オシロイバナ	多年草	●				ダキバアレチハナガサ	多年草		●			
スベリヒユ科	スベリヒユ	1年草				シソ科	クルマバナ	多年草					
ナデシコ科	ツメクサ	1年草						マルバハッカ	多年草		●		
	マンテマ	1年草	●				オオバコ科	ヘラオオバコ	多年草		●	要	
アカザ科	アリタソウ	1年草	●				タチオオバコ	1年草		●			
ヒユ科	ヒナタイノコズチ	多年草					ヨモギ	多年草					
モクレン科	ホオノキ	夏緑高木						アメリカセンダングサ	1年草		●	要	
	コブシ	夏緑高木						コセンダングサ	1年草		●	要	
キンボウゲ科	センニンソウ	多年草					オオアレチノギク	1年草		●	要		
アブラナ科	セイヨウカラシナ	1年草	●					ヒメムカシヨモギ	1年草		●	要	
	マメゲンバイナズナ	1年草	●					ミズヒマワリ	多年草		●	特	
ベンケイソウ科	ツルマンネングサ	多年草	●				ククイモ	多年草		●	要		
バラ科	ビワ	常緑高木						ブタナ	多年草		●	要	
	カワラサイコ	多年草	C					アキノノゲシ	1年草				
	モモ	夏緑高木						セイタカアワダチソウ	多年草		●	要	
	タチバナモドキ	常緑低木	●					ヒメジョオン	1年草		●	要	
	ノイバラ	夏緑低木						セイヨウタンポポ	多年草		●	要	
	ナワシロイチゴ	夏緑低木						オオオナモミ	1年草		●	要	
マメ科	アレチヌスビトハギ	多年草	●				トチカガミ科	オオカナダモ	常緑多年草		●	要	
	マルバヤハズソウ	1年草					ヒガンバナ科	ヒガンバナ	多年草				
	ヤハズソウ	1年草						ナツズイセン	多年草		●		
	メドハギ	多年草					ヤマノイモ科	ヤマノイモ	多年草				
	クズ	夏緑藤本					アヤメ科	キショウブ	多年草		●	要	
	クララ	多年草					イグサ科	クサイ	多年草				
	コメツツメクサ	1年草	●				イネ科	アオカモジグサ	多年草				
	ムラサキツメクサ	多年草	●					イヌムギ	多年草		●		
	シロツメクサ	多年草	●					スズメノチャヒキ	1年草				
	カタバミ科	カタバミ	多年草					ギョウギシバ	多年草				
カタバミ科	ムラサキカタバミ	多年草	●	要				メヒシバ	1年草				
	オッタチカタバミ	多年草	●					シナダレスズメガヤ	多年草		●	要	
	オウゴンカタバミ	多年草	●					チガヤ	多年草				
フウロソウ科	アメリカフウロ	1年草	●				ネズミムギ	1年草		●	要		
トウダイグサ科	エノキグサ	1年草						ホソムギ	多年草		●	要	
	ハイニシキソウ	1年草	●					ドクムギ	1年草		●		
	オオニシキソウ	1年草	●					オギ	多年草				
	コニシキソウ	1年草	●					シマスズメノヒエ	多年草		●		
	アカメガシワ	夏緑高木						クサヨシ	多年草				
センダン科	センダン	夏緑高木						ツルヨシ	多年草				
ニシキギ科	ツルウメモドキ	夏緑藤本						アキノエノコログサ	1年草				
ブドウ科	ヤブガラシ	多年草						セイバンモロコシ	多年草		●		
アオイ科	ヤノネポンテンカ	夏緑低木	●					ナギナタガヤ	1年草		●		
ウリ科	ゴキツル	1年草	C					シバ	多年草				
アカバナ科	ヤマモモソウ	多年草	●				カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ	多年草		●	要	
	メマツヨイグサ	2年草	●	要			ラン科	ネジバナ	多年草				
	コマツヨイグサ	2年草	●	要									

貴重性 「兵庫県の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック」(兵庫県) による貴重性のカテゴリー

A: 県内において絶滅の危機に瀕している種 B: 県内において絶滅の危機が増大している種 C: 県内において存続基盤が脆弱な種  
調〔要調査種〕: 今後の調査によっては貴重種となる可能性のある種

外来生物法 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」 による種の指定

特〔特定外来生物〕: 外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定され、輸入、飼育、栽培、販売、遺棄などが原則として禁止され、駆除等の対象となるもの。

要〔要注意外来生物〕: 外来生物法は適用されないが、取り扱いについて注意を要するもの。特定外来生物のいけば予備軍と考えられるもの。

## 荒神川合流地点でみられる植物



### 1 注目すべき植物 (貴重な種と特定外来生物)

河川では川幅の広がる区間においては、河床材料の堆積した砂州ができ、こぶし大よりも大きい円礫からなる礫河原が発達します。流水面からの比高が比較的高く、乾燥が著しい礫河原には、そのような環境にも適応した特有の礫原草原が成立します。武庫川の低水路において本来の礫原草原を見ることは難しいですが、荒神川合流地点の高水敷には礫原草原に特有のカワラサイコが生育しています。武庫川に礫原草原が再生する際には、当該地のカワラサイコが種の供給源となることも考えられ、その保全は非常に重要です。

一方、河川は、外来種が侵入しやすい側面を有しています。流水を通じて外来種は移動し、河川のかく乱や造成により出現する裸地に容易に侵入します。外来種によっては河川の生物多様性に悪影響を及ぼすばかりか、人間活動にも悪影響を及ぼす可能性があるため、河川固有の生物多様性を保全し、良好な河川環境を維持するには対策が必要になります。荒神川合流地点には、外来生物法により特に警戒を要する外来種として“特定外来生物”に指定されるミズヒマワリが分布しています。



#### カワラサイコ 在 C

バラ科

多年草。名前は、太い根がミシマサイコ(セリ科)に似ていて、河原に生えていることに由来します。葉は羽状に深く裂け、裏面には綿毛が密生します。6~8月、径1~1.5cmの黄色い花を枝先に咲かせます。



#### ミズヒマワリ 外 特

キク科

多年草。中央・南アメリカ原産で、戦後、輸入熱帯魚とともにやってきたと考えられています。葉は、名前の由来であるヒマワリに似ており、対生、長さ20cm程度になります。7~10月、小さな白い花が集まった球状の花序をつけます。





## 2 その他の植物



### メドハギ 在

マメ科  
カワラサイコと同様に礫原草原によくみられるマメ科の植物です。花期は8～10月、葉の脇に淡い黄白色で中央に紫色の斑が入った蝶型の花を咲かせます。



### ハナハマセンブリ 外

リンドウ科  
葉は対生し、卵状披針形で先は尖ります。花期に根生葉が残っていることがありますが、普通枯れ始めています。6～7月、ピンク色の花を咲かせます。



### コマツヨイグサ 外 要

アカバナ科  
全体に粗毛があり、茎は地面をはうか、斜めに立ち、基部からよく分枝してしばしばマット状に広がります。花期は7～8月、淡黄色の花を咲かせます。花は日中でも咲き、しばむと赤みを帯びます。



### マルバヤハズソウ 在

マメ科  
葉先を引っ張ると、きれいにY字型にちぎれます。名前はちぎれた形が「矢筈」に似ているため。よく似たヤハズソウは、葉の幅が狭く、茎の毛は下向きに生えています。礫原草原にもよくみられます。

### ホソムギ 外 要

イネ科  
高さ40～70cm、全体に無毛です。小穂は長さ10～15mmで扁平、柄がなく4～10の小花をつけます。小花には芒がなく、よく似たネズミムギは5～10mmの芒を出します。



### ヨモギ 在

キク科  
葉は羽状に分かれてキク科植物の特徴をよくあらわしています。茎や葉の裏には白い絹毛が密生しています。名前は、「よく燃える草」に由来するという説があります。



### キクイモ 外 要

キク科  
茎には短い毛がたくさん生えます。葉はざらつき、先の尖った卵型で、粗いきよ歯があります。8～10月、1.5～2.5mになった茎の先端に黄色い大きな花をつけます。膨らんだ地下茎は、「イモ」として食べることができ、独特の食感を楽しめます。



### シャクチリソバ 外

タデ科  
茎は太く、無毛で高さは1m以上になります。葉は互生し、三角形で先が尖り、長い柄があります。花期は、7～10月、上部の葉と茎の間から白い花が集まった穂状の花序を出します。



### ヤブジラミ 在

セリ科  
5～7月、小さな白花を密につけます。果実には、先端がかぎ状に曲がった刺状の毛が密生し、人や獣にひっついて運ばれます。果実がシラミのように衣服につくことが名前の由来です。

### ゴキツル 在 要

ウリ科  
まきひげでよじのぼるつる植物。河川やため池など、水辺の草地に生えます。葉は細長い三角形。果実をふた付きのおわんに見立てて「合器ツル」と呼ばれたことが名前の由来といわれています。



### メリケンガヤツリ 外 要

カヤツリグサ科  
カヤツリグサの仲間水辺に生えます。茎は太く3稜があり、無毛です。花期には、花柄を茎先に3～10個出し、球状に小穂をつけます。小穂は線形で扁平、淡黄緑色の小花を20個ほど2列に並べます。

### ダキバアレチハナガサ 外

クマツヅラ科  
茎は高さ1.5m程度となり、剛毛が著しく、断面は四角形です。葉は対生し、基部は切形でやや茎を抱きます。花期は6～9月、淡紫色の花を咲かせます。



### セイバンモロコシ 外

イネ科  
葉は中央脈が白く、ススキに似ていますが、葉の縁はざらつかず触っても切れることはありません。夏から秋に、15～50cmの円錐状の花序を出し、多数の小穂をつけます。



### アメリカネナシカズラ 外 要

ヒルガオ科  
葉緑素をもたない寄生植物です。茎は細く、黄色を帯び、さまざまな植物に巻きつき吸盤で付着します。花期は8～10月、3mm程度の白い花が茎の途中にかたまっています。